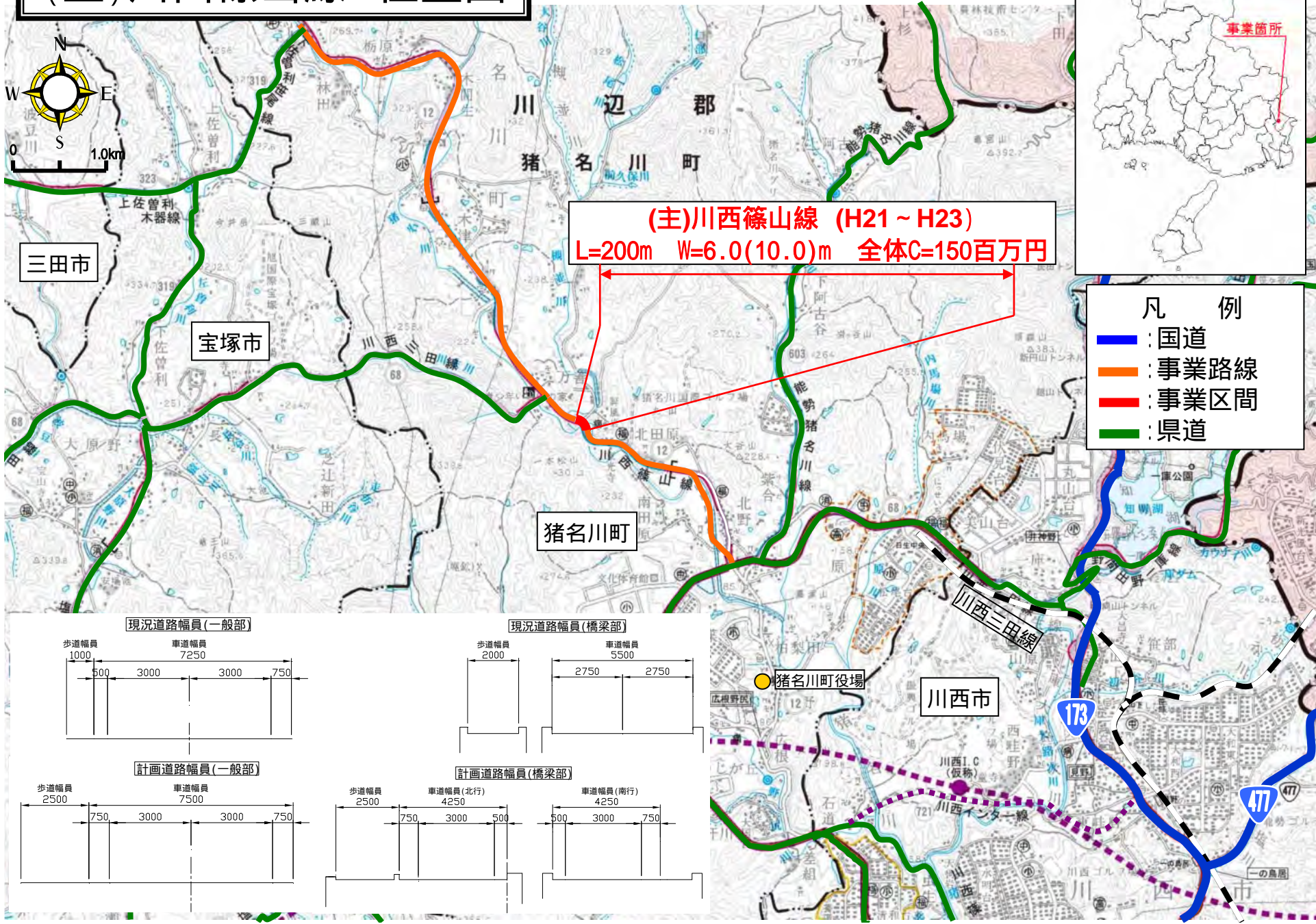


投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 地域道路室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	地域道路室長 高井親嘉 (県道係長 中尾兼人)	内線	4362 (4376)
事業種目	道 路	事業名	事業区 間	総事業費	1.5億円
		道路改築事業 (主)川西篠山線 <small>かわにしざさやません</small>	川辺郡猪名川町 北田原～万善 <small>かわなべぐんいながわちょう きたたはら まんぜん</small>	内用地補償費	0.3億円
所 在 地			着手予定 年 度	完成予定 年 度	
川辺郡 猪名川町 北田原 <small>かわなべぐん いながわちょう きたたはら</small>			H 2 1	H 2 3	
事業目的			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> 本路線は、川西市から篠山市を結ぶ阪神地域北部の南北幹線道路であり、大阪府北部地域や三田市方面へのアクセス機能も有している。 当該区間は、景勝地「屏風岩」の観光スポットに面し、また、「道の駅いながわ」の利用客が年々増加しているなど、自動車交通量が多い。 しかしながら、当該区間内の烏帽子岩橋は、車道幅員が5.5mと狭小であるため、大型車の離合が困難で、橋梁防護柵への物損事故が多発するなど、走行性、安全性に問題が生じている。 このため、本事業により、烏帽子岩橋の拡幅と合わせ、歩道拡幅も行い安全で円滑な交通を確保する。 			道路改築事業 L = 200 m 【構造規格】：3種3級(山地部) 【計画幅員】：W = 6.0 (10.0) m (2車線+片側歩道) 【計画交通量】：12,800台/日(H42推計値) 【現況交通量】：13,268台/日(H17交通センサ) 【負担割合】：国5.5/10 県4.5/10		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心を確保する 道づくり	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁部の幅員が狭小であるため、大型車の離合が困難で、橋梁防護柵への物損事故が多発するなど、走行性、安全性の問題から橋梁拡幅が必要である。 橋梁拡幅と合わせて歩道を拡幅することにより、安全な歩行者空間を確保する。 緊急輸送道路としての機能を高め、安全で安心な道路ネットワークを確保する。 				
くらしと交流を支える 道づくり	<ul style="list-style-type: none"> 景勝地である「屏風岩」や「道の駅いながわ」へのアクセス向上を図ることにより、地域の観光振興による活性化に寄与する。 橋梁拡幅によるボトルネックの解消により、円滑な交通ネットワークを確保し、周辺地域との交流・連携を促進する。 				
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 1 . 4 当該区間の整備により幅員狭小区間が解消され、走行時間短縮とともに安全性と利便性が向上し有効性が高い。 				
代替性	<ul style="list-style-type: none"> 沿道状況から大型物件をコントロールするなど施工性、経済性に優れた現道拡幅計画である。 				
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川町の全面的な協力を得て、事業を執行する。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 景勝地であることから、景観に配慮した高欄を設置する。 歩道部には透水性舗装を施工する。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 地域交通の安全性・円滑性を確保するため、早期の事業着手が必要である。 兵庫県の社会基盤整備プログラムにおいて前期(H20～H25)着手事業として位置づけており、県ホームページ等により公表している。 				

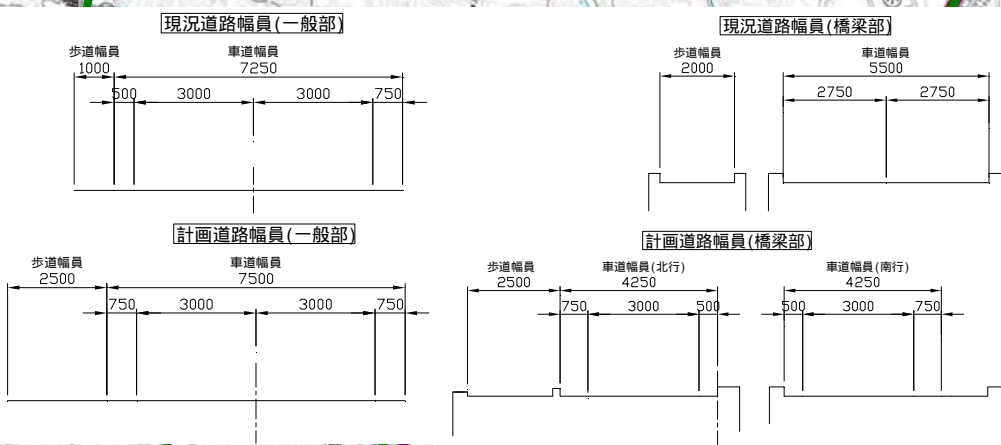
(主)川西篠山線 位置図



(主)川西篠山線 (H21 ~ H23)
L=200m W=6.0(10.0)m 全体C=150百万円



- 凡 例**
- : 国道
 - : 事業路線
 - : 事業区間
 - : 県道



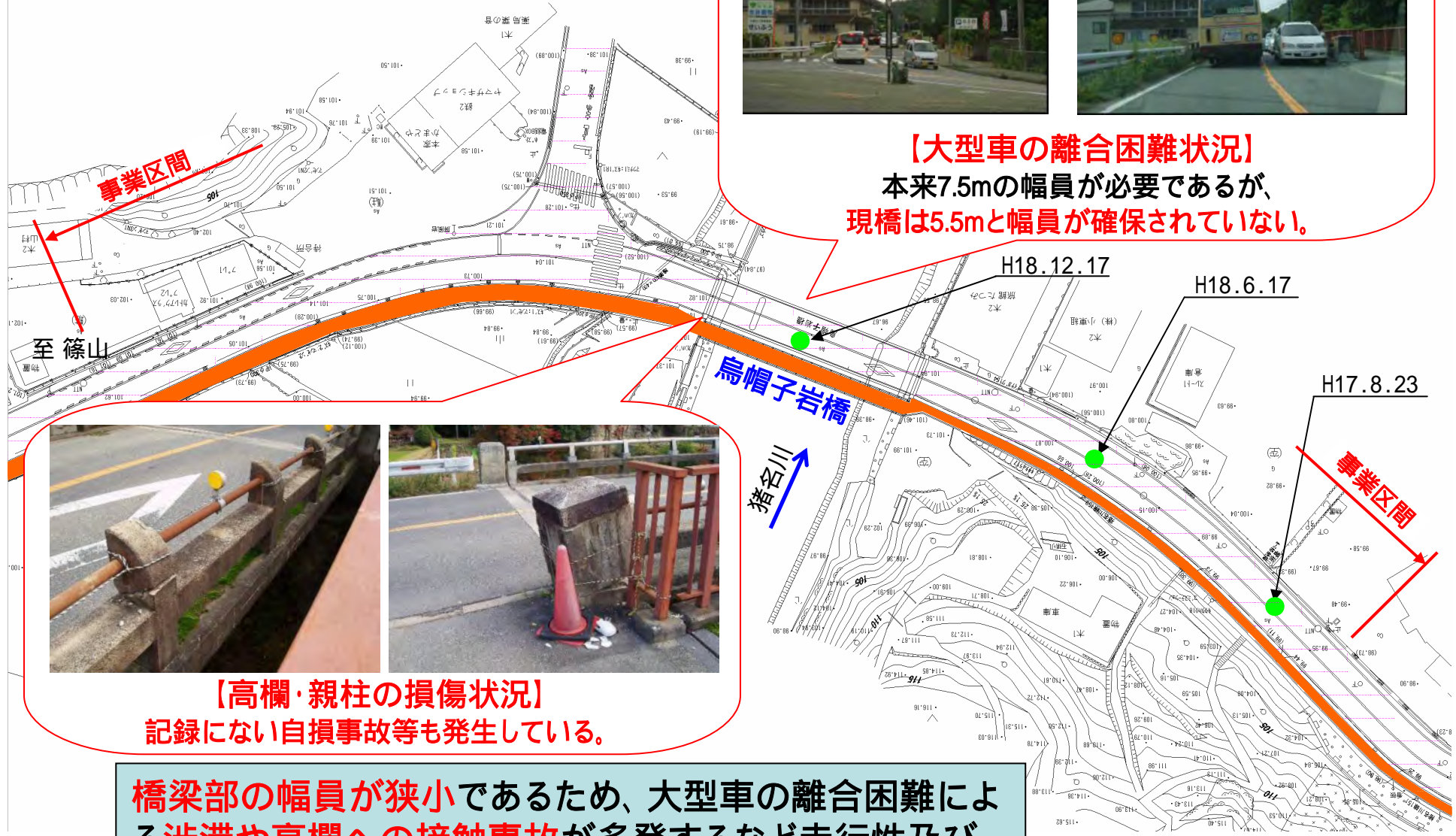
(主)川西篠山線 烏帽子岩橋工区 ルート図



烏帽子岩橋の課題



【大型車の離合困難状況】
 本来7.5mの幅員が必要であるが、
 現橋は5.5mと幅員が確保されていない。



【高欄・親柱の損傷状況】
 記録にない自損事故等も発生している。

橋梁部の幅員が狭小であるため、大型車の離合困難による渋滞や高欄への接触事故が多発するなど走行性及び交通安全上の課題から橋梁拡幅が必要である。

: 人身事故発生箇所

観光振興への貢献性



写真：道の駅 いながわ



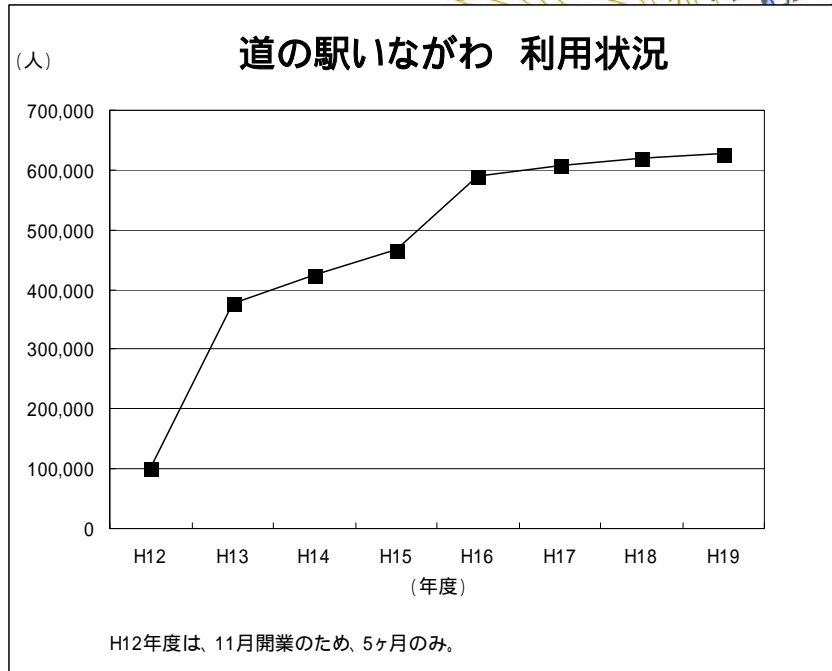
道の駅 いながわ



写真：景勝地 屏風岩



写真：屏風岩周辺の観光施設



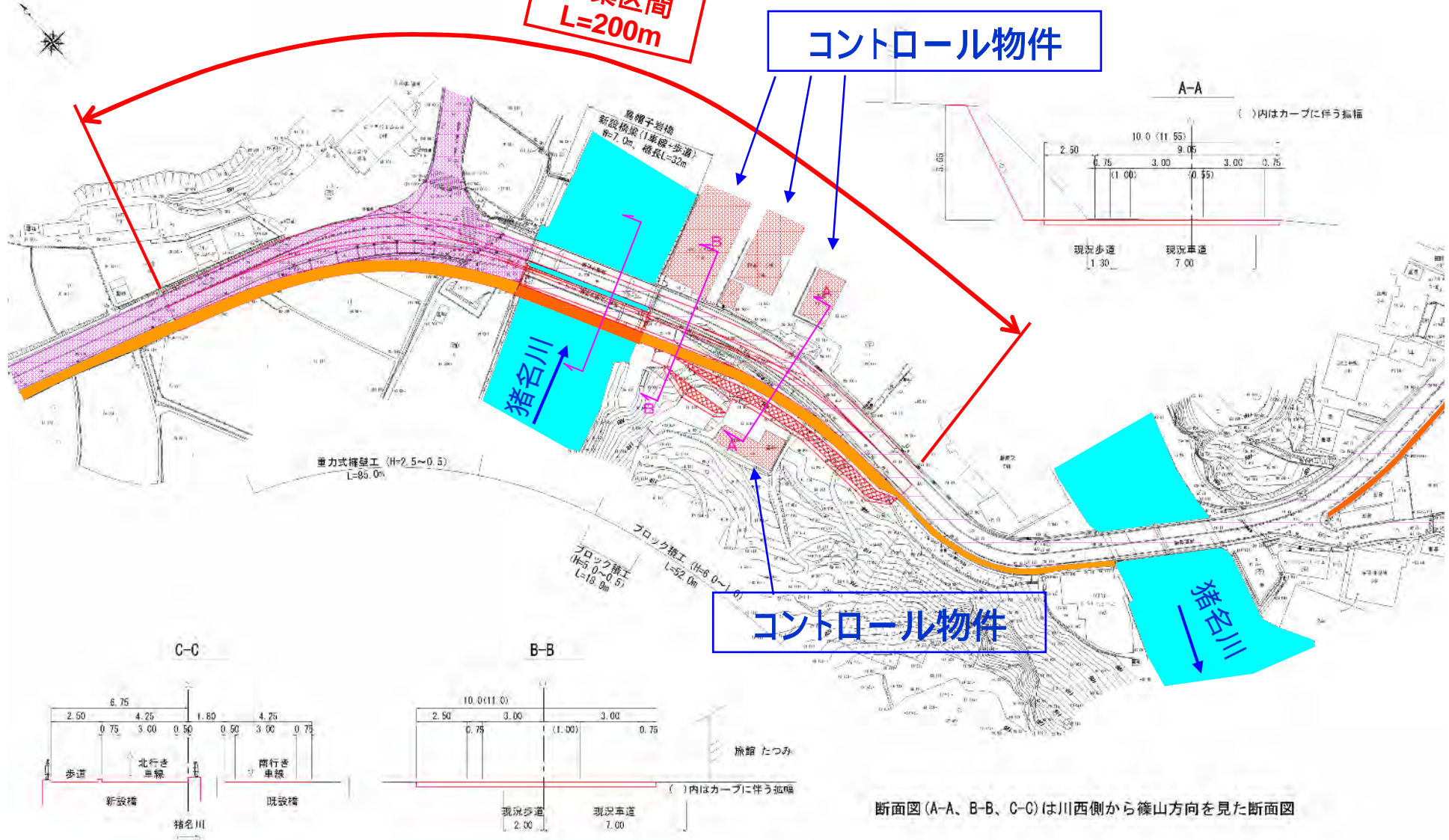
景勝地である「屏風岩」や「道の駅いながわ」へのアクセス向上を図ることにより、地域の観光振興による活性化に寄与する。

道路計画案

事業区間
L=200m

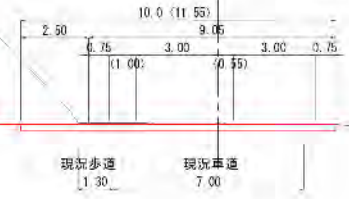
コントロール物件

コントロール物件

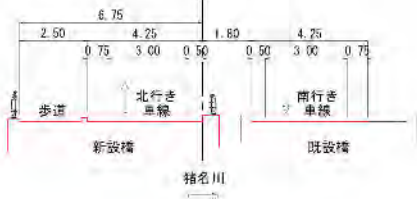


A-A

()内はカーブに伴う拡幅



C-C



B-B



沿道状況から大型物件をコントロールするなど施工性、経済性に優れた現道拡幅計画である。

新規事業

当初計画

(主)川西篠山線 事業スケジュール

工種	年度											
	H21				H22				H23			
調査設計												
用地補償												
橋梁												
道路改良												

B / C根拠

便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
道路	走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用： (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365日
	走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費： (交通量 × 距離) × 走行経費原単位 × 365日
	交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額： (交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位 + 交通量 × 主要交差点数 × 交差点部事故損失原単位)

費用便益比(B / C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		C(費用)			B / C
		便益額 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
道路	道路改築事業 主要地方道 川西篠山線	走行時間短縮便益	212	154	142	12	1.4
		走行経費減少便益	8				
		交通事故減少便益					
		計	220				